

もうすぐ冬本番！「冬型」犯罪に備えよう

朝晩の冷え込みが厳しくなり、ひと雨ごとに秋の深まりを感じる季節となりました。
年末に向けて人の動きが慌ただしくなるこの時期は犯罪が増える傾向があります。
特に、北海道の寒冷地ならではの「冬型」の犯罪には、日頃から備えておくことが大切です。

要注意！冬期に狙われやすい犯罪手口

▶灯油の抜き取り被害が増加しています

原油価格の高騰に伴い、胆振地方をはじめ全道でホームタンクから灯油を抜き取られる被害が確認されています。犯行は夜間に多く、給油口を開けてポンプで灯油を抜き取るのが主な手口です。

給油口には南京錠やホース侵入防止器具を取り付けるほか、タンクの周囲にセンサー付き照明や警報機、防犯カメラを設置するなどの防犯対策をしましょう。



▶「在宅」を装い、空き巣を防ぎましょう

日没が早まるこの時期は、照明が消えた家が留守であることが一目で分かってしまいます。旅行や帰省で長期間家を空ける際は「在宅」を装い、留守と気付かれないようにすることが重要です。以下のポイントなどを参考にしてください。

【タイマー付き照明の活用】

日没後に自動で点灯する照明を利用しましょう。

【郵便の整理】

郵便受けに新聞や郵便物がたまらないよう、事前に配達停止の手続きをしておきましょう。

【SNSの利用】

旅行中であることを投稿するのは危険です。個人情報につながる内容は避けましょう。

苫小牧警察署管内からの情報

苫小牧警察署管内では、依然として特殊詐欺の被害が続いています。特に高齢者を狙った「オレオレ詐欺」や役場職員、警察官を名乗って現金やキャッシュカードをだまし取る「還付金詐欺」などの手口が増えています。

電話で「お金」や「暗証番号」といった言葉が出たら、それは詐欺です。

いったん電話を切り、すぐに家族や警察に相談しましょう。また、留守番電話機能を設定して、用件を確認してから電話に出るようにしてください。



不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 ㊟ 0110

追分駐在所 ☎ ㊟ 2003

安平駐在所 ☎ ㊟ 2339

早来駐在所 ☎ ㊟ 2030

遠浅駐在所 ☎ ㊟ 2211

役場総務課 ☎ ㊟ 2511